

第29回HAB研究機構学術年会 (ハイブリッド開催)

ポスター発表用PDFファイル作成マニュアル パワーポイントでポスター作成

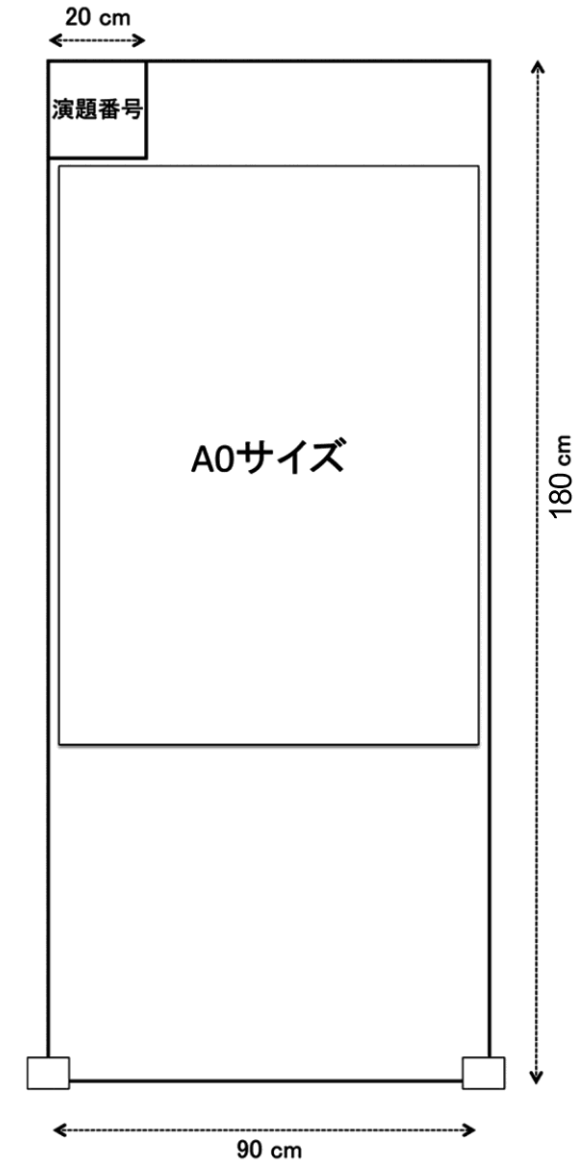
ファイル作成の流れ



ポスター発表用PDFファイルの注意点

ポスター発表用PDFファイルは、
下記の構成で作成してください。

- 上端 20 cm 内には演題番号、演題名、
演者名、所属を明示ください。
- 利益相反（COI）の開示を入れてください。



利益相反（COI）の開示スライド

申告すべきCOI項目と基準をご参照の上、抄録提出時の前年より過去3年間に於ける筆頭および責任発表者のCOI状態の開示をお願いします。

COI状態が無い場合の開示例

COI開示

- ☑ 発表内容に関連し、過去3年間、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

筆頭発表者： 東京 一郎
責任発表者： 福岡 四郎

COI状態が有る場合の開示例

COI開示

筆頭発表者： 京都 次郎
責任発表者： 大阪 三郎

演題発表内容に関連し、筆頭および責任発表者の過去3年間のCOI関係にある企業などは以下のとおりです。

講演料：A製薬、B製薬
原稿料：C製薬

パワーポイントでポスター作成（１）

1. テンプレートをお使いください。
(用紙サイズ：90cm×140cm)
2. 各スライドを**頁ごとに画像として書き出し**。

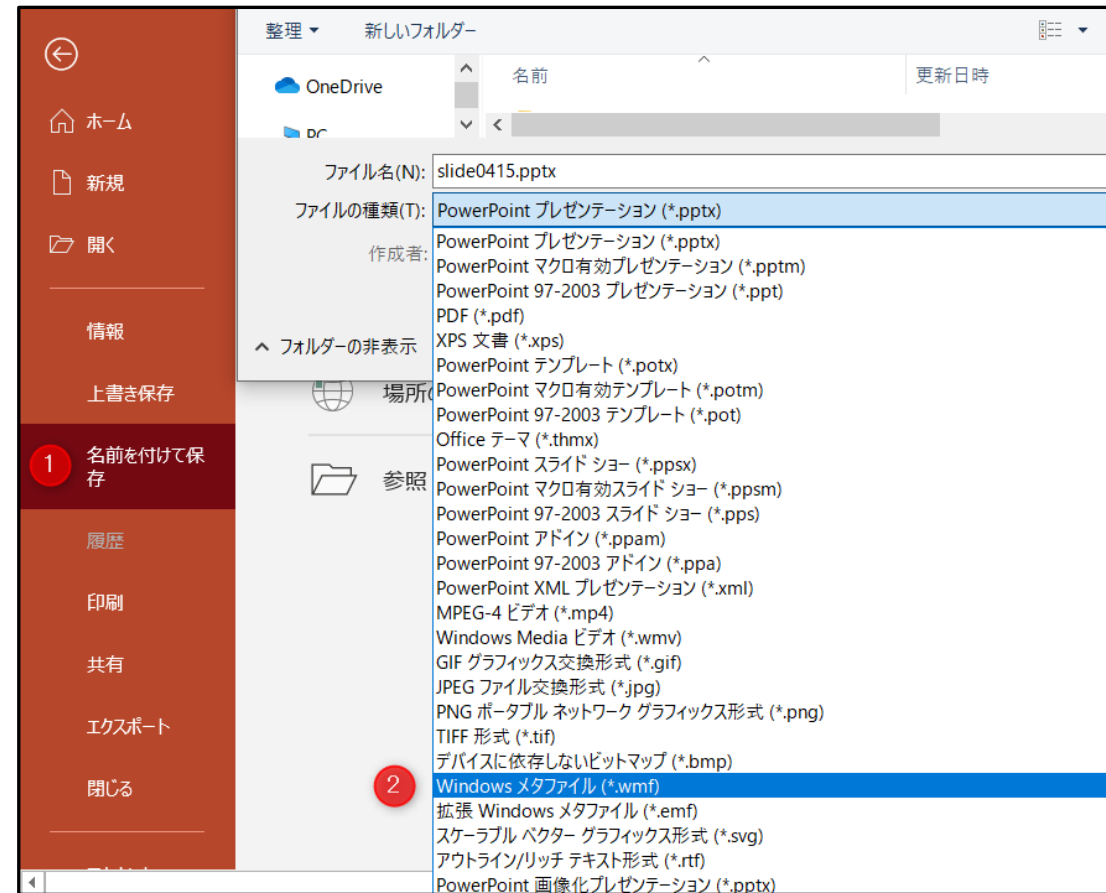
【Windows】の場合

「Windowsメタファイル（.wmf）」形式
に書き出し

【Mac】の場合

「TIFファイル（.tif）」に書き出し

【Windows】の場合

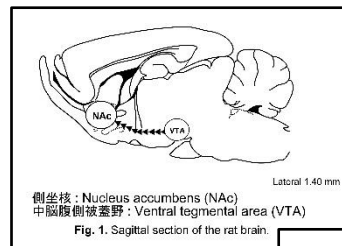


パワーポイントでポスター作成 (2)

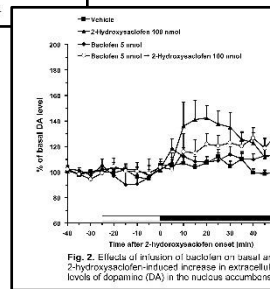
3. テンプレートファイルに

作成した各頁 (画像ファイル) を挿入します。

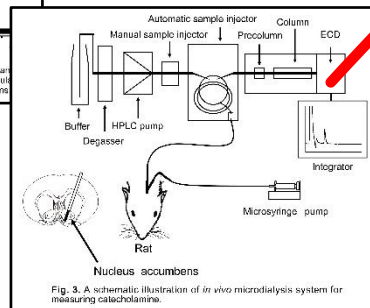
複数スライドを1枚にまとめる



Σ ポスターファイル1.wmf



Σ ポスターファイル2.wmf



Σ ポスターファイル3.wmf

Allylglycine のラット側坐核ドパミン遊離促進効果における GABA_B 受容体の役割

COI開示: 京都大学, 京都府立大学, 大阪府立大学, 大阪大学
日本大学医学部薬学系神経薬理学, 日本大学医学部薬学系

緒言

我々は既に、中脳辺縁系ドパミン (DA) 神経の投射領域の側坐核へ GABA_A 受容体拮抗薬を局所灌流投与すると、同部位の細胞外 DA 量は増加するが、その効果は GABA_A 受容体拮抗薬で抑制されることを報告している (Figs. 1, 2) ¹⁾。このことは、側坐核において GABA は GABA_A 受容体刺激を介して同部位の DA 遊離を抑制的に制御していることを示唆するものである。しかし、GABA 合成を阻害して GABA 神経活動が低下した状況下での側坐核 DA 遊離の様式と、それに対する GABA_A 受容体の役割については未だ明らかでない。そこで本研究では、GABA 合成阻害のグルタミン酸脱炭酸酵素の阻害薬 allylglycine の側坐核への灌流投与が同部位の細胞外 DA 量に及ぼす影響について、GABA_A 受容体の阻害との間から GABA_B 受容体拮抗薬 (baclofen) と GABA_A 受容体拮抗薬 (2-hydroxyacridolifen) を用いて in vivo 脳微小透析法により検討した。

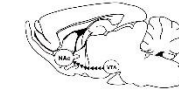


Fig. 1. Sagittal section of the rat brain.

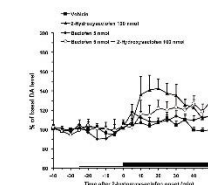


Fig. 2. Effects of infusion of baclofen on basal and 2-hydroxyacridolifen-induced increase in extracellular levels of dopamine (DA) in the nucleus accumbens.

方法

実験には S-D 系雄性ラット (体重約 200 g) を用いた。実験は本研究室で行っている通法 ^{2,3)} に従って行い、無麻酔非拘束の条件下で in vivo 脳微小透析法により側坐核から回収した DA は、HPLC-ECD 法で 5 分間に定量化した。使用薬物はいずれも選択フローから逆送法で側坐核に灌流投与した。予備実験を行い、本研究と同様の allylglycine 処置が側坐核の細胞外 GABA 量を最大約 40% 減少することを確認した。

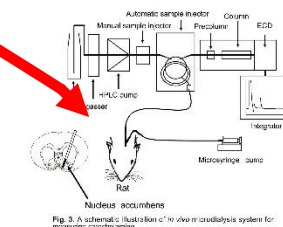


Fig. 3. A schematic illustration of in vivo microdialysis system for measuring catecholamines.

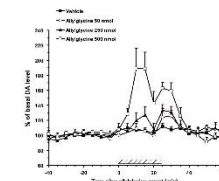


Fig. 4. Effects of infusion of allylglycine on basal and 2-hydroxyacridolifen-induced increase in extracellular levels of dopamine (DA) in the nucleus accumbens.

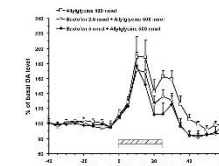


Fig. 5. Effects of infusion of allylglycine on basal and 2-hydroxyacridolifen-induced increase in extracellular levels of dopamine (DA) in the nucleus accumbens.

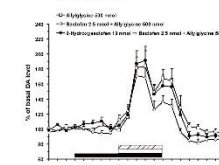


Fig. 6. Effects of infusion of allylglycine on basal and 2-hydroxyacridolifen-induced increase in extracellular levels of dopamine (DA) in the nucleus accumbens.

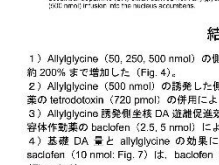


Fig. 7. Effects of infusion of allylglycine on basal and 2-hydroxyacridolifen-induced increase in extracellular levels of dopamine (DA) in the nucleus accumbens.

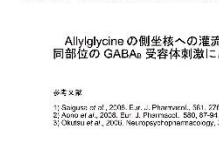


Fig. 8. Effects of infusion of allylglycine on basal and 2-hydroxyacridolifen-induced increase in extracellular levels of dopamine (DA) in the nucleus accumbens.



Fig. 9. Effects of infusion of allylglycine on basal and 2-hydroxyacridolifen-induced increase in extracellular levels of dopamine (DA) in the nucleus accumbens.

結果および考察

- 1) Allylglycine (50, 250, 500 nmol) の側坐核への灌流投与は、同部位の基礎 DA 量を用量依存的に約 200% まで増加した (Fig. 4)。
- 2) Allylglycine (500 nmol) の誘発した側坐核細胞外 DA 量の増加は、電位依存性 Na⁺ チャネル阻害薬の tetrodotoxin (720 pmol) の併用によりほぼ完全に消失した (Fig. 5)。
- 3) Allylglycine 誘発側坐核 DA 遊離促進効果は、基礎 DA 量にほとんど影響を与えない量の GABA_A 受容体拮抗薬の baclofen (2.5 nmol) によって抑制された (Fig. 6)。
- 4) 基礎 DA 量と allylglycine の効果に著変を与えない量の GABA_A 受容体拮抗薬の 2-hydroxyacridolifen (10 nmol; Fig. 7) は、baclofen による allylglycine 誘発 DA 遊離抑制効果を打ち消した (Fig. 8, 9)。

以上の結果から、allylglycine の側坐核への灌流投与は同部位の細胞外 DA 量を神経活動依存的に促進するが、その効果は同部位の GABA_B 受容体の活性化によって抑制されることが示された。

まとめ

Allylglycine の側坐核への灌流投与は同部位の DA 遊離を促進し、その効果は、同部位の GABA_B 受容体刺激によって抑制されることが示された。

参考文献

- 1) Saito et al., 2016, Eur. J. Pharmacol., 561, 276-282.
- 2) Arai et al., 2020, Eur. J. Pharmacol., 580, 87-94.
- 3) Chiba et al., 2020, Neuroreport, 31, 379-383.

COI開示

論文発表者: 京都大学
責任発表者: 大阪府立大学
論文発表内容に関連し、筆頭および責任発表者の過去3年間のCOI関係にある企業などは以下のとおりです。
講演料: A製薬、B製薬
原稿料: C製薬

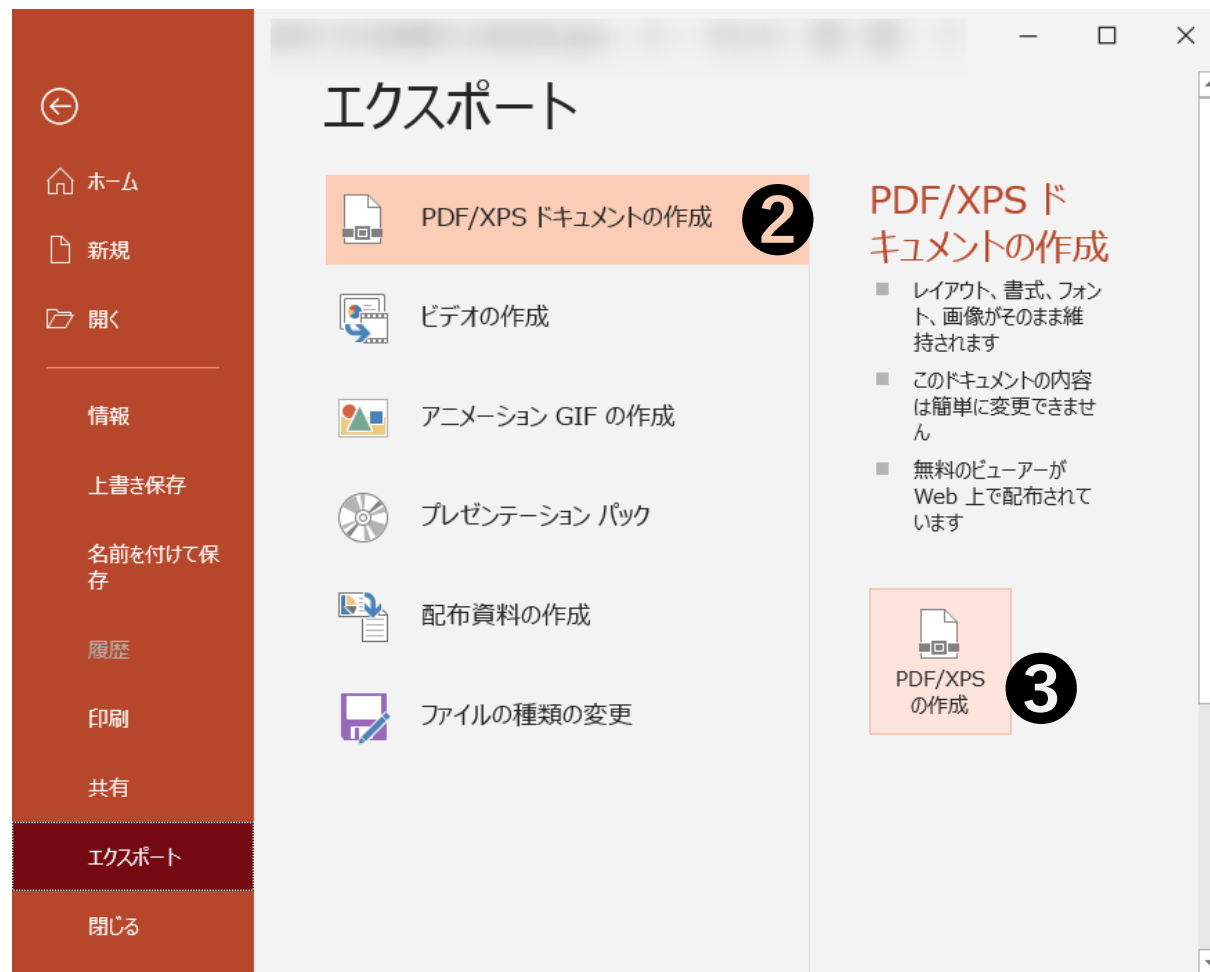
画像の挿入

PDFファイルへ書き出し

スライドの作成が終わったら
PDFファイルに書き出し保存
ください。

PDFファイルには、
パスワード認証かけないでください。

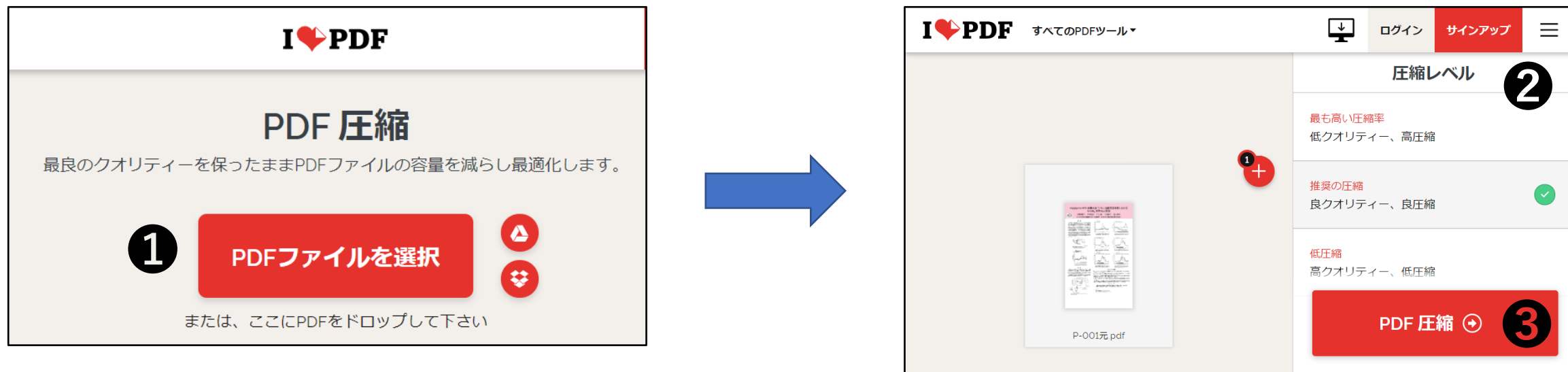
1



PDFファイルの圧縮

PDFファイルを圧縮してアップロードしやすいようにしてください。
お薦めのサイト（WEB上でPDFファイルの圧縮してくれます。他にも多数あります。）

URL= https://www.ilovepdf.com/ja/compress_pdf



- ① PDFファイルを選択（ファイルをドロップ）
- ② 圧縮レベル選択（「良圧縮」がお薦め）
- ③ PDF圧縮
- ④ PDFダウンロード（自動でダウンロード開始します）

ファイルのアップロード

ファイルアップロード先（URL）は
後日お申込者にメールでご案内いた
します。

* アップロードURLはお申込者ごとに違います。

① PDFファイル（必須）アップロード

Human & Animal Bridging Research Organization

File Upload

No.
P-04

名前 :
様

E-Mail:

タイトル:
ヒト脳オル 応答評価

* Check your Name and E-Mail. If there is a difference, please contact the secretariat.
If there is no problem, please submit the draft manuscript pdf file from the box below.

特定非営利活動法人HAB研究機構
E-Mail : secretariat@hab.or.jp

必須 PDFファイル（ファイル名は簡潔に願います。）
*PDFファイルにはパスワードなどセキュリティ設定はしないでください。

ファイル選択 選択されていません Reset

1

Reset Submit 2

Copyright © Human & Animal Bridging Research Organization, All Rights Reserved.

お問い合わせ先

ご不明点等ございましたら下記までお問合せください。

特定非営利活動法人HAB研究機構

TEL：047-329-3563

E-mail：secretariat@hab.or.jp